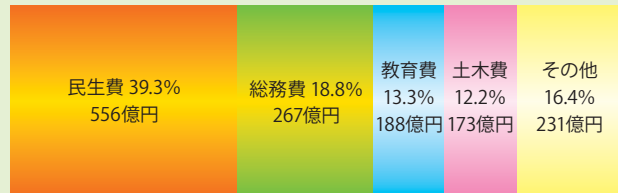


福祉ナンバーワン都心「港区」へ

港区の新元号元年の一般会計予算の約4割は民生費＝福祉関連予算です。全議員の持てる力を結集し、区議会議長として新年度予算を取りまとめさせていただきました。

まず区民が「幸せ」でなくては、昼間人口100万人を抱える都心港区の発展はありません。すべての世代の区民の「幸せ」を担う「福祉」をさらに進める新年度予算です。



※端数は処理しています。

区長の所信表明



自民党議員団で
予算要望を提出

大幅な人口増、新駅の誕生、世界中から訪れる観光客。港区の活況は今後も続いています。これからの港区が目指すべきは、活況を超える区民の「幸せ」です。

池田こうじ プロフィール

昭和39年生まれ／家族、妻・一男一女



【港区育ち】

港区に育ち、大学では哲学・大学院では健康学マネジメントを修める

港区立青南小学校（同窓会監事）、港区立三河台中学校（現六本木中学同窓会事務局長）、都立小山台高校（菊桜会幹事）、明治学院大学中退、同志社大学哲学科 卒業、慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科修士課程修了（健マネ三田会会長）、自民党政経塾卒塾。



【福祉の歩み】

児童福祉と高齢者福祉の現場に28年

特別養護老人ホーム施設長だった平成12年、介護保険制度が導入。施設運営指針や制度の激変に、政治が福祉を形作っているのだと実感、福祉現場から政治を変えたいと政治家を志す。

ケアマネジャーの資格を取得、港区内のお年寄りの尊厳に向かい、在宅介護にも従事。港区あんしん介護センターを設立運営。港区介護事業者協議会会長、西麻布の特別養護老人ホームベル設立担当役員など歴任。

児童養護施設の運営も20代から携わっている。家庭に恵まれない子供たちの8割は虐待で保護されてきた理由による。大学などで児童養護についての講演多数。

現在も特別養護老人ホーム、家庭に恵まれない子供たちのための児童養護施設・児童グループホームの社会福祉法人理事長を務める。



【政治の歩み】

挫折を経て当選、港区議会議長となるまで

平成15年の初挑戦では43票差で落選、平成19年より港区議会3期連続当選。

平成29年より港区議会議長。

東京都後期高齢広域医療連合議会の議長なども歴任。港区自民党総支部副支部長。



【地域・奉仕活動】

町会副会長、消防団部長、青少年対策委員会理事、法人会理事、ライオンズクラブ会長、港区トライアスロン連合顧問など。



池田こうじ

2019年3月28日発行 www.ikedas5.com

池田こうじ

検索

概要

港区の新時代の扉を開く新元号元年予算

なぜ南青山の「(仮称)子ども家庭総合支援センター」が必要なのか

心豊かな

「生活者の都心」を

つくる



都心こそ子育て、都心こそ老後、都心こそ幸せ

これからの港区が目指すべきは、心豊かな都心を区民協働で創っていくことです。

幸せと心豊かさを感じることのできる生活者の都心です。「福祉」と辞書で引けば「幸せ」と書いてあります。

福祉現場28年

区民の幸せと福祉施策を礎に、新しい時代を迎える多分野の各施策を推進して参ります。

区民に身近な区政は、まちづくり、産業振興、教育、すべての政策において、福祉の精神にある、手を差し伸べる、優しい、支え合う精神を必要としています。

港区議会議長

池田こうじ



区政報告についてのご意見
区政への要望等をお聞かせ
ください

FAX 03-5549-4157
mail: info@ikedas5.com

港区議会自民党控室 港区芝公園1-5-25

P C 版 HP <http://www.ikedas5.com>



全世代の区民の幸せを担う「福祉」をさらに推し進めます

- 子ども家庭総合支援センター整備
- 妊娠期からの切れ目のない育児支援
- 保育園の定員拡大と障害児ケア推進
- 小学生の放課後居場所拡大
- 児童発達支援センター開設
- 自殺対策強化
- 高齢者の住宅支援
- がん緩和ケア
- 都心型地域包括ケアの構築
- 特別養護老人ホーム整備

すべての子どもたちを健やかに育むまちを実現するための取り組みを進めます

待機児童ゼロの実現に向けた取り組み

- 保育園の整備による定員拡大
- AIを活用した円滑な入園支援

様々な問題を抱える家庭や子どもへの支援の強化

- 虐待の深刻化や重症化を防ぐ取り組みの強化
- (仮称)港区子ども家庭総合支援センター整備

児童・生徒数増加への対応と可能性を広げる教育の推進

- 小学校体育館へ冷暖房設備を整備

障害のある子どもへの支援の充実

- 障害児保育を実施する元麻布保育園の開設
- 学校における医療的ケア実施体制の強化

誰もが快適に過ごすことができるまちづくりを進めます

災害対策の強化

- 停電時に備えた備蓄物資の整備
- 280MHz帯防災ラジオの配布

まちのルール・マナーが守られる快適なまちづくりの推進

- 受動喫煙防止対策の相談窓口設置
- 落書き対策防犯カメラの無償貸与
- 夜の観光振興と安全・安心の両立
- バリアフリーの推進
- 客引き・落書きの防止
- みなとタバコルールの推進

誰もが健康で心豊かにいきいきと暮らせるまちづくりを進めます

働き盛り世代の健康を守る取り組みの充実

- がん精密検査未受診者への受診勧奨
- インターネットを活用した自殺対策相談窓口の案内

地域でいきいきと安心して暮らせる取り組みの充実

- 成年後見制度の利用促進
- 住み替えにお困りの高齢者世帯へ民間賃貸住宅入居を支援

多様な主体や文化、価値観などの交流を促進する取り組み

- ラグビーワールドカップ2019に向けた気運醸成
- 運動場更衣室などのバリアフリー化
- やさしい日本語の普及を推進

ペットと共生するまちづくり

- 災害時のペットケア対策
- ドッグランの計画検討

東京2020大会を見据えた取り組みを進めます

レガシーを残す

- 区の魅力を国内外に広く発信
- 誰もが豊かな文化芸術に親しむ環境の整備
- スポーツを「する」「みる」「支える」文化の定着

なぜ南青山の「(仮称)子ども家庭総合支援センター」が必要なのか

なぜ必要なのか

現在、港区の新生児は毎年3千人近く、今後も港区内の年少人口が急増

区内児童虐待相談も年間約400件に

子ども家庭相談センターでは多様な子育ての悩み相談も急増

児童虐待の所管は新宿にある東京都の児童相談所であり制度の狭間に置かれている子どもが課題



児童相談所を区が設立できる法改正を受けて港区は設立を表明

センターの機能強化が急務

南青山の国有地を適正価格で取得し、子ども家庭総合支援センターを機能強化し児童相談所など関連施設を併設する画期的な子育て総合拠点「(仮称)子ども家庭総合支援センター」を設立へ

今後の課題

- 質の高い人材確保／育成と運営のノウハウの確立
- 併設する各施設の連携機能強化
- 地域や警察・病院などの関係機関との連携など
- 子育て相互支援として児童虐待予防策を強化